

報道関係各位



展覧会実施概要

- ◆名 称 : さがわきつづみゅーじあむ 冬季企画「ムーミン 75 周年記念 ムーミンコミックス展」
- ◆会 期 : 2020 年 10 月 24 日 [土] ~ 2021 年 1 月 11 日 [月・祝]
- ◆開 館 時 間 : 午前 9 時 30 分 ~ 午後 5 時 (入館は午後 4 時 30 分まで)
- ◆休 館 日 : 月曜日 (11/23、1/11 は開館)、11/24・25、12/29~1/1
- ◆入 館 料 : 一般 ¥1,000 / 高大生 ¥600 / 中学生以下は無料 ※ただし保護者の同伴が必要
※ 専門学校・専修学校は大学に準じる ※ 障害者手帳をお持ちの方(手帳をご提示ください)、付添者(1 名のみ)無料

[主催]佐川美術館 (公益財団法人 SGH 文化スポーツ振興財団)

[特別協力]ムーミンキャラクターズ社 [協力]ライツ・アンド・プランズ、筑摩書房

[後援]フィンランド大使館、滋賀県、滋賀県教育委員会、守山市、守山市教育委員会、BBC びわ湖放送

[コミックス翻訳]富原真弓 [アート・ディレクター]大谷有紀 [企画制作]東映

【ムーミンコミックス展公式 HP】<https://moomin-comics.jp>

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、内容を変更する場合がございます。当館ホームページやツイッターをご覧ください。

【開催概要】

佐川美術館（所在地：滋賀県守山市）では、さがわきつずみゅーじあむ 冬季企画として「ムーミン 75 周年記念 ムーミンコミックス展」を開催いたします。

ムーミン童話の原作者トーベ・ヤンソン(1914-2001)による漫画・ムーミンコミックスは、イギリスの「イブニング・ニュース」紙で 1954 年より 20 余年に亘り連載されました。主に、トーベが絵と台詞、弟のラルス(1926-2000)がネタ探しと英訳を担当し、1960 年からはラルス一人で漫画を制作。コミックスの連載はムーミンの人気を決定的にしました。本展はコミックスにスポットを当て、キャラクター設定やスケッチ、原画など、日本初公開となる 280 余点を通じて、楽しくも奥深いムーミンたちの豊かな世界の魅力を伝えます。



広報画像
1

■ 作家紹介

トーベ・ヤンソン(1914-2001)

フィンランドのヘルシンキに生まれ、15 歳から芸術家としてのキャリアをスタート。絵画家、風刺画家、短編作家としても活躍します。1945 年から 25 年間に亘って書きつづけた「ムーミン」の小説シリーズは世界各国で多くの読者に親しまれています。1954 年、コミックスの連載を始めると、20 か国以上で翻訳・出版され、ムーミンの人気を決定的なものにしました。

ラルス・ヤンソン(1926-2000)

トーベの末弟。15 歳のときに冒険小説『トルトゥーガの冒険』でデビュー。ムーミンコミックスの連載が始まると、トーベとともにマンガの制作や英訳に関わり、1960 年から 1975 年は一人で連載を続けました。また、TVアニメ「楽しいムーミン一家」では、企画から制作にいたるまで、トーベとともに監修者として関わりました。



トーベ（左）とラルス（右）



広報画像
2

みどころ

■ ムーミンコミックスってなに？

ムーミン童話の世界を気楽でコミカルなものとして、時には社会風刺のエッセンスも加えながら、大衆的に馴染みのある漫画で表現したムーミンコミックス。その歴史は、1947

年から2年間フィンランドのスウェーデン語系新聞「ニィ・ティド」紙に『ムーミントロールと地球の終わり』が掲載されたことに始まります。1954年になると、イギリスの夕刊紙「イブニング・ニュース」紙で連載がスタート。姉であるトーベと弟のラルスによる、姉弟ならではの連携プレーでコミックスを手掛けたのです。1960年からはラルス一人で漫画制作を担当し、1975年まで連載は続けました。「イブニング・ニュース」紙によるムーミンコミックスの連載はイギリスにとどまらず、その年のうちにスウェーデン、デンマーク、そして母国フィンランドの新聞に、さらに最盛期には40カ国以上、120紙に転載されたほどで、その読者も1200万人とムーミンの人気は爆発的なものとなります。20余年に亘り連載が続いたことから、その人気ぶりは容易にうかがえるでしょう。その波及効果は、すぐにオリジナルであるムーミン童話の児童文学シリーズにも及び、次々に世界各地で翻訳、出版されました。ムーミンコミックスをきっかけに、トーベは児童文学作家としての国際的な名声を不動のものにしたのです。

日本でも2000年から、筑摩書房より「ムーミンコミックス」(訳: 富原真弓、全14巻)が出版されています。

■ トーベが描いたムーミンコミックスのスケッチ、ラルスの描いた原画が日本初公開！

本展では、ムーミンコミックス連載にあたり、トーベが描いたキャラクター設定のドローイングやスケッチが出品されます。作品からは、何

度も描きなおしたであろうと思われる鉛筆の筆致や、登場キャラクターの多様な描写を見ることができ、コミックス制作における貴重な背景資料といえるでしょう。

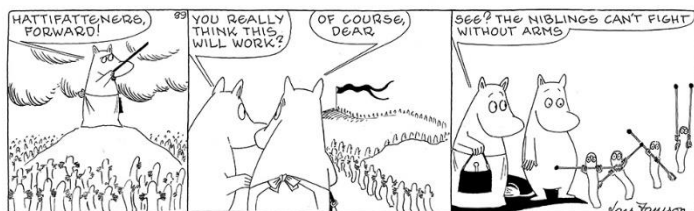
また、ラルスが一人で手掛けたムーミンコミックス52作品の中から4作品を選出し、実際に使用した貴重な原画をご紹介します。これらの4作品は、日本ではまだ書籍化されておらず、必見です。

これらの今回ご紹介する作品は日本初公開となり、ムーミンファンに限らずどの方にも楽しんでいただける内容です。

【作品画像】

1. トーベ・ヤンソン「まいごの火星人」スケッチ (1957年)
2. ラルス・ヤンソン「MOOMIN AND THE TEN PIGGY BANKS」原画 (1975年)
3. ラルス・ヤンソン「MOOMINS IN BATTLE」原画 (1974年)
4. トーベ・ヤンソン「まいごの火星人」スケッチ (1957年)
5. トーベ・ヤンソン「黄金のしっぽ」習作 (1958年)

掲載画像は全て ©Moomin Characters™



広報画像
3



広報画像
4



広報画像
5

●広報用写真について

本プレスリリース中に掲載している画像データ（**広報画像と記載されているもの**）をご用意しております。画像データをご希望の方は、同封の**作品画像使用申込書（プレゼント用招待券申込付）**に必要事項をご記入の上、当館までファックスまたは下記担当者宛にメールでお申込ください。

当館ホームページ（<http://www.sagawa-artmuseum.or.jp/press/>）から画像申請も受け付けております。

その他の画像が必要な場合は、企画担当者までご連絡ください。

なお、作品画像につきましては、当該展覧会の広報以外でのご使用はお断りしております。トリミングなどの画像の加工はご遠慮ください。また、申込書に記載しておりますキャプションおよび著作権表記をお願い致します。

●プレゼント用招待券について

読者・視聴者・リスナーへのプレゼント目的にかぎり、本展覧会会期中有効の**ご招待券を 10 枚**までご提供させていただきます。

ご希望の方は同封の**作品画像使用申込書（プレゼント用招待券申込付）**に必要事項をご記入の上、当館までファックスまたは下記担当者宛にメールでお申込ください。

◆交通のご案内：

お車ご利用の場合

駐車場有 70 台、美術館入館者は無料

- 名神高速瀬田西 IC から湖周道路経由（約 30 分）
- 名神高速栗東 IC から守山栗東線経由（約 30 分）
- 名神京都東 IC から湖西道路（真野 IC）・琵琶湖大橋経由（約 30 分）

鉄道ご利用の場合

- JR 琵琶湖線守山駅から路線バス「佐川美術館」下車（約 35 分）
- JR 湖西線堅田駅から路線バス「佐川美術館」下車（約 15 分）

◆連絡先◆

公益財団法人 SGH 文化スポーツ振興財団

佐川美術館

〒524-0102 滋賀県守山市水保町北川 2891

TEL:077-585-7800/FAX:077-585-7810

企画担当学芸員：馬場 まどか(ばば まどか)

m_baba004@sagawa-artmuseum.or.jp

作品画像使用申込書

佐川美術館 宛 FAX / 077-585-7810



申込日 2020 年 月 日

作品画像の露出・掲載等ご使用にあたっての注意	● 申請された方法、目的以外には使用しないでください ● 掲載誌・紙は資料として 1 部以上お送りいたしますよう、お願い致します ● その他の画像が必要な場合は、企画担当者までご連絡ください
使用作品	☐ 1. トーベ・ヤンソン「まいごの火星」人」スケッチ（1957 年） ☐ 2. ラルス・ヤンソン「MOOMIN AND THE TEN PIGGY BANKS」原画（1975 年） ☐ 3. ラルス・ヤンソン「MOOMINS IN BATTLE」原画（1974 年） ☐ 4. トーベ・ヤンソン「まいごの火星」人」スケッチ（1957 年） ☐ 5. トーベ・ヤンソン「黄金のしっぽ」習作（1958 年） ※ご希望の作品にチェックを入れてください。 ※1～5 の作品画像使用の際は、上記キャプションと下記著作権表記をお願いします。 ※著作権マーク「©Moomin Characters™」 ※作品画像使用については、<u>著作権先の確認が必要</u>になります。 <u>原稿は企画担当者まで必ずお送りください。</u> 確認に期日を要するため、お早めをお願い致します。 計 枚
媒体名	
貴社名	
ご芳名(ご所属)	()
ご連絡先	ご住所:(〒 -) E-MAIL: TEL: FAX:
発行(掲出)予定日	年 月 日 号
使用形態(○印)	Web サイト / 印刷物(カラー / モノクロ)
招待券希望枚数	読者プレゼント用として、招待券 枚 ※ 枚数は 10 枚以内でお願いいたします。ご了承ください。